

私立大学図書館協会東地区研究部
2006年度第1回運営委員・研究分科会代表者会議議事録

日時：2006年5月19日(金) 15:00～16:40
場所：駒澤大学 深沢キャンパス 洋館 大ホール
出席者：研究分科会代表者
[メタデータ・分類] 鈴木 学(日本女子大学)
[逐次刊行物] 岡田光世(東邦大学)、副代表：小室啓子(文教大学)
[パブリック・サービス] 東家由朗(上智大学)
[図書館運営戦略] 櫻井友美(国土館大学)
[レファレンス] 三上 彰(桜美林大学)、副代表：中山紗恵子(駒澤大学)
[理工学] 内山光子(日本大学)
[相互協力] 清水ゆかり(杏林大学)
[西洋古版本] 金田陽治(成城大学)、副代表：五島正美(中央大学)
[企画広報] 副代表：清水弥生子(東洋学園大学)
[和漢古典籍] 山田裕之(多摩美術大学)
[北海道地区] 京谷正博(札幌学院大学)
[情報リテラシー教育] 内堀勇二(立教大学)
[L-ラーニング学習支援システム] 阿部潤也(東京歯科大学)

研究部運営委員

秋沢久美子(駒澤大学)、五十嵐明子(法政大学)、石原智子(慶應義塾大学)
前之園香世子(昭和女子大学)、久世泰子(東京経済大学)、長岡三智子
(早稲田大学)、野口真生(大正大学)

研究部担当理事校(国土館大学)

齊藤 毅、渡辺美好、相田 勉、笹岡文雄
月例担当理事校(立正大学) 水上裕子
ホームページ委員：野田雅美(国土館大学)

会議に先立ち、参加者の自己紹介と資料の確認があった。

議 題：

1. 2006年度研究部活動計画(案)について
研究部担当理事校から、資料1に基づいて説明があり、了承された。
2. 2006年度研究部予算(案)について
研究部担当理事校から、資料2に基づいて説明があり、了承された。
3. 2006年度研究部研究会(交流会)について

研究部担当理事校から、資料 3 に基づき説明があり、講演会のテーマ・講演者について検討をしている。研究分科会活動報告(1 研究分科会を予定)の部で発表できる研究分科会は連絡してほしい旨依頼があった。

4 . 2006 年度研究分科会活動計画について

研究部担当理事校から、資料 4-1~14 について説明があり、各研究分科会においては今後これに沿って活動して頂きたい旨要請があった。

5 . 研究分科会マニュアル 2006 年度版について

研究部担当理事校・月例会担当理事校・会員更新担当理事校から、更新初年度に当たるため、資料 5 に基づき詳細な説明があり、了承された。研究分科会代表から夏期研究合宿を土・日に開催、日数を長めに、関東地区以外で開催できるかとの質問に対して研究部担当理事校から、会員派遣校の支出面での負担がなるべくかからぬよう留意して計画を立ててほしいとの回答があった。

6 . 分科会関連業務の分担について

研究部担当理事校から、資料 6 に基づき説明があった。

7 . 繰越金について

研究部担当理事校から、予算繰越金が高額になっている研究分科会があり、監事校の指導を受けたため、来年度に向け縮減策を検討したい。については夏期研究合宿明けまでに意見を寄せて頂きたい旨要請があった。

8 . 2006 年度スケジュールについて

研究部担当理事校より、資料 7 に基づいて説明があった。

9 . WWW 情報資源提供サービス並びに利用の概要について

ホームページ委員より、資料 8 に基づいて説明があった。2006 年度よりメーリングリスト申請者名簿を提出しなくてよいということがホームページ委員会で決定したとの報告があった。

10 . その他

研究部担当理事校より、研究分科会代表者名簿(資料 9)について、連絡網としての確認があった。

以 上